

(後編) 国税庁：2014年度相続税の物納申請状況等を公表！

その後は、事前に相続税額を試算して納税準備をするなど、相続開始前から納税対策を行う納税者が増えたこと等もあってか、1999年度以降は年々減少しております。

2014年度も5年連続で減少となっており、ここ8年間は1,000件割れが続いております。

2014年度の申請件数は、ピーク時1992年度(1万2,778件)のわずか0.9%で、金額も同じくピーク時1992年度(1兆5,645億円)の0.2%にまで減少しております。

一方、処理状況を見てみますと、前年度からの処理未済を含め、前年度比34.2%減の131件、金額では同306.8%増の301億円を処理しております。

金額は大口案件があったことから、年度末での処理未済件数は、前年度より13.7%減の69件、金額では同24.2減の47億円となりました。

処理の内訳を見てみますと、全体の7割強の88件が許可されて財務局へ引き渡され、物納財産として不適格が8件あり却下、残りの25件は納税者自らが物納申請を取り下げしております。